

能な限り議事録の内容が閲覧できるように作業を進め、これまでコロナ感染等、手が回らなかつた。

地域の経済を回復させるために

質問 この苦しい厳しい基幹産業酪農の現状はいつまで続くと思定するか。

町長 予測は不可能だが、ここ1、2年で終わるといふ形ではないと思う。短貸しを借りたとすれば、今年背負った債務が翌々年から償還が始まっていくという二重の支払いが多分増えていくと思う。

質問 営農している皆がここにこやっていくためにどうするか。

町長 希望と意欲だけでは無くさないよう継続できる支援策を農協と協議しながらやれるだけの支援を今後きちんと詰めていく。

質問 こういう状況でも外国の乳製品がある程度日本に輸入してこないといけない。中央要請した時、政治決断でストップして国内で賄うというくらいの発言を

しても良かったのではないか。

町長 今までやってきた政策が全部悪いということでは片付けられるような状況でなく、今後我々も努力してこの状況を打破しながら、国と協議しながら進めてい

かなくてならない大きな課題だ。多分新年度になるともっともつと苦しい時期が来るのだと認識している。

質問 農村部に明るい笑顔を届けてもらえるような新年度事業を考えてみてはどうか。幌延牛乳を造り、町民に飲んでもらうなど。

町長 アイデアの一つとして考える。

質問 機運醸成を目的にバイオガス講演会を開いたが、目的は達成されたか。

町長 バイオガスだけでなく、本当は現時点が大変なのでそういうところよりもっと違うことを先にやらなければならぬのかもしれないが、今までの流れてきた事業報告の一部であると感じている。

質問 令和4年度当初の宗谷新聞に「離農が増加傾向

にある中、酪農家の共同での法人化、新規就農やヘルパー養成のための研修牧場の開設を模索する」とあるが、難しい状況か。

町長 相づちを打っていただけはいくらでも進めると思う。今の形ではなかなか難しいが、先を見据えることが必要と思う。

質問 浜頓別町では、国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策において都府県で1万円の補填金が、北海道では7千200円であることから、差額2千800円の上乗せ補助の話があるが、幌延町農協からは要請はなかったか。

町長 農協からの話は直に聞いてない。相談しながらどの範囲が良いか協議したい。現在、宗谷管内各町の対策を調査している。

第5回 まちづくり常任委員会

12月7日

○調査事項（抜粋）

▽空家等対策の推進について

老朽危険家屋等の除去費用を補助するために必要な事項について「幌延町空家等除却支援条例」を制定し、令和5年4月1日から施行したい。

補助金の額は、除却に要した費用の5分の4を補助し、限度額は特定空家等で200万円、その他の空家等で100万円を上限とし、条例の失効日は令和8年3月31日とする。

◎空き家をリフォームし町民に提供してはどうか。

◎リフォームに使える補助金として「定住促進持家住宅建設等奨励事業」がある。◎リフォーム補助は増額しないのか。

◎リフォーム補助は近隣町村と比べて高額となっていると思う。流動性を高めるために必要であれば、今後

の課題として検討する。

▽幌延町簡易水道事業特別会計及び幌延町下水道事業特別会計における地方公営企業会計への移行について

簡易水道や下水道は将来にわたり安定的にサービスを提供していかなければならない社会資本である。

公営企業会計適用により、資産を含む経営状況を的確に把握し、中長期的な経営戦略の策定を通じて、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む。

▽開進地区浄水場緩速ろ過砂入替洗浄業務について

開進地区浄水場のろ過池でろ過砂利層の詰まりなどが頻繁に発生し十分な水の供給ができない状況のため、ろ過砂・ろ過砂利の入替作業など早急に行う。

- 編集委員長 西澤 裕之
- 副委員長 無量合 隆
- 委員 佐藤 忠志
- 委員 高橋 秀明